



2012
No.543



11月号

静岡百選



藤枝だるま

しずおか偉人 錦織兵三郎

サッカーの町藤枝の礎を築いた
気骨の教育者

東海道五十三次をめぐる散歩道シリーズ

旧街道筋の風情を訪ねる旅

駿州藤枝宿編 七

長楽寺商店街界隈を歩く

しずおか酒造りの風景

第八回 酒蔵探訪

森本酒造合資会社〈菊川市〉

オクシズ100選

梅ヶ島温泉の紅葉情報 オクシズカレンダー

静岡百選瓦版



静岡百選


2012・11月号 No.543

デジタルブックも公開中 <http://www.sairan.co.jp/>



02 **しずおか偉人 錦織兵三郎**
サッカーの町藤枝の礎を築いた気骨の教育者



08 **東海道五十三次をめぐる散歩道シリーズ**
旧街道筋の風情を訪ねる旅 駿州藤枝宿編 
長楽寺商店街界隈を歩く

18 **しずおか酒造りの風景**
第八回 酒蔵探訪
森本酒造合資会社〈菊川市〉



20 **静岡百選特選 忘新年会特集**

28 **清水魚市場**
河岸の市 まぐろ館オープン〈静岡市清水区〉

34 **オクシズ100選 梅ヶ島温泉の紅葉情報**
オクシズカレンダー



36 **静岡百選瓦版**

静岡百選11月号 2012年11月1日発行
発行/株式会社サイラン 静岡百選編集室
〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3丁目11-4 TEL.054-255-3105(代)

本誌掲載情報の商品・サービス等を利用する場合は各自において充分に検討・確認・納得の上でご利用ください。
また、掲載されている個人情報に関して当社にお問合せいただいても一切お答えする事はできません。

家具屋

校倉

あぜくら



職人: 出口晃司



不易流行
ゆるぎない指物の技術が
時流と共に生きて



こたちダイニングテーブル
エコオイル仕上げ

指物・注文家具
有限会社 **森下木工所**
〒422-8046 静岡市駿河区中島2811番地
TEL.054-286-3203 <http://aze-kura.com>



しずおか偉人

錦織兵三郎



錦織兵三郎は明治12年、宮城県仙台市狐小路に生まれました。明治38年、東京高等師範学校(現・国立筑波大学)に入学し、本科数学・化学部で学び明治42年に卒業、師範学校・中学校・高等女学校の数学教員免許を受けた。戦前の学校制度は現在と異なりますので、簡単に説明すると、師範学校は初等・中等学校教員の養成を目的とした学校です。卒業後、教職に就くことが条件でしたが授業料は



錦織兵三郎(にしごり ひょうざぶろう)

1879-1964

サッカーの町藤枝の礎を築いた 気骨の教育者

大正13年に創立された県立志太中学校、
現在の県立藤枝東高等学校であるが、
その初代校長として赴任した錦織兵三郎。

「至誠一貫新興の意気を発揚すべし」を掛け声に新設校教育に尽力。
蹴球を校技とし、サッカーの名門藤枝東、
サッカー王国静岡の魁となる。

サッカーの町・藤枝市を象徴する藤枝総合運動公園サッカースタジアム。日本フットボールリーグの藤枝MYFCの本拠地の一つ。
将来のJリーグ昇格を目指し、現在スタジアムを改修中。

無料であり、寮生活などによって生活も保障されていきましたので、貧しい家の優秀な子どもたちの救済的な役割も果たしていました。師範学校から高等師範学校を経て文理科大学という進学コースをたどれば、学費無料で帝国大学卒に匹敵する教育が受けられた訳です。この仕組みによって、経済的な理由で進学を諦めていた多くの優秀な人材が、高い教育を受けることができました。

教員免許を取得した錦織は、岩手県、富山県の師範学校の教壇に立ち、大正5年、浜松師範学校に赴任、そして大正13年、新設される静岡県立志太中学校の校長兼教諭として、藤枝の地に赴任することとなりました。

周囲の圧力に屈せず、毅然として自らの教育信念を貫いた人

静岡
縣立
志太
中學校

静岡県立志太中学校の初代

校長となった錦織は、『運動競技の目的は、体育の振興と精神作興の二方面である。時間浪費が少なく比較的短時間にその目的を達成するものが望ましい。盛んに行われている競技、庭球(テニス)と野球の長短を厳に考慮したうえ、特に精神作興を背景としながら運動量、進取の気性、連帯共同性および未発達競技の将来性への期待から蹴球(サッカー)を校技として奨励した。』と述べています。文中の「精神作興」とは聞きなれない言葉ですが、心を奮い立たせるといった意味でしょうか。当時、スポーツの種類として野球の人氣が非常に高かつ

たのですが、錦織は『部の者だけが運動場を占領し、予算の大部分を使ってしまう野球部を作ることとは全く考えていなかった。』そうです。

気風が養成された。わが校もサッカーによってジェントルマンを作るのだということでした。『暇さえあればサッカーボールをけつて遊んでいました。グラウンドには草が生えたり、大きな石もゴロゴロしていましたので、放課後や休日に皆で穴を掘って石を埋めたり、草取りをして自分たちでグラウンドを整備しました。』との事です。当時の錦織先生のはりきっている様子が分かりますし、生徒自らが自分たちの学校を整備しよう、きれいにしようとしている気分も伝わってきます。同じく初期頃の卒業生によると、草刈・整地・植樹・プール造りなど、毎日、鎌や鋤を持って登校

大正15年に志太中学校に入学し、実際に錦織校長先生に学んだ甲賀正三氏は、『まだ学校はできたばかりで、全校生徒300人足らず。5年生はまだおらず、3年生が一番の上級生でした。入学の時、皆サッカーシューズを注文しました。通学もサッカーシューズでした。初代校長である錦織先生は、わが校はサッカーを校技とすると宣言されました。英国の名門、オックスフォード、ケンブリッジはサッカーによってジェントルマンの

大正15年に志太中学校に入学し、実際に錦織校長先生に学んだ甲賀正三氏は、『まだ学校はできたばかりで、全校生徒300人足らず。5年生はまだおらず、3年生が一番の上級生でした。入学の時、皆サッカーシューズを注文しました。通学もサッカーシューズでした。初代校長である錦織先生は、わが校はサッカーを校技とすると宣言されました。英国の名門、オックスフォード、ケンブリッジはサッカーによってジェントルマンの



写真右：志太中学校蹴球部の第一回生(昭和3年撮影)

写真左：昭和3年度 東海近県中等学校蹴球大会優勝





写真左：錦織が初代校長を務めた現在の静岡県立藤枝東高等学校。 写真右：錦織校長送別記念に集まった生徒や市民。



しずおか偉人 錦織兵三郎

していたそうです。サッカーの練習に関しては、全校生徒を合わせ10のチームを作り、互いに競わせ盛んに練習に取り組んだようです。

しかし、学校設立に大金を寄付した町の有力者たちは、他所の学校と同じように野球が行われないことに強い不満を抱くようになります。町議員からの野球部創設の働きかけを退けたため、双方の関係が険悪となり錦織校長先生は転勤させられた：と言われています。町の有力者たちと対立し、まさに四面楚歌の状況にありましたが、錦織校長は毅然として自らの教育の信念を曲げませんでした。この時、土地の有力

者の圧力に屈してしまっていたら、現在に至る藤枝東サッカーの栄光はなかったかもしれません。もちろん、「サッカー王国静岡」の始まりも、今とは違った形になっていたかもしれません。

錦織校長は昭和5年に志太中学から、伊豆の豆陽中学（現在の下田高校）へと転勤になります。志太中保護者達は県庁に先生の留任をもとめ陳情しましたが容れられませんでしたが、皆涙を流し転勤を惜しんだといえます。昭和38年、冬の全国で藤枝東高が初優勝した記念に、錦織兵三郎校長の胸像が建てられました。その翌年、84歳で死去されています。

静岡県立藤枝東高等学校 第25代校長鈴木富喜先生からのメッセージ



藤枝東高校は、大正13年4月に旧制志太中学校として開校し、今年で88年の歴史と伝統を有する学校であります。正門を入ってすぐ左手の植え込みには、ゴールに向かってまっしぐらに突き進み、まさにシュートを蹴りこもうとする力感豊かな「蹴上王者」の像と中庭には小川国夫氏の詩碑と「誠」の像があります。初代錦織校長先生が就任にあたり「至誠一貫、新興の意気を発揚せん」との理想を掲げ、サッカーを校技に導入し、人格陶冶の柱とされました。その精神は脈々と受け継がれ、県内屈指の進学校として、生徒は、勉強にスポーツに励み、卒業生は各界で活躍しております。

平成26年には創立90周年を迎えます。伝承なきところに文化なしといいますが、こころのルーツを探り、絶えず新たなものに挑戦し、新興の意気を発するところに藤枝東高校の色と匂い、空気があると考えます。同窓生とともに新たな歴史を築いていきたいと考えております。

弊社は今年で創業60年。
私は三代目の山本剛と申します。
私自身藤枝東高サッカー一部
出身で、日本代表キャプテン
長谷部選手とも一緒に
プレーをしていました。



藤枝東サッカー一部黄金時代の ユニホーム&ジャージが復刻!!

今から約50年前、選手達が着用するユニホームとジャージを作成するにあたり、当時の長池監督と毎晩のように打ち合わせをしました。最もこだわった部分は、この藤枝東を象徴する藤色です。この色は、非常に特殊な色で簡単に出すことができませんでした。何十回も試作を重ね、ようやく完成しました。しかし、長池監督は、「直さん。これはまだ完成ではありません。彼らがこのユニ

ホームと、ジャージを着て全国優勝した時に完成と言いました」と笑顔で話かけてくれたことを鮮明に覚えてます。その後、藤枝東は数々のタイトルを獲得しました。彼らが表彰式の時に着ているユニホーム・ジャージ姿を見て、私は涙を流しました。なぜなら、選手達は全国制覇をするまでに、並々ならぬ努力を重ね、汗を流し、時には悔し涙を流し、たくさんの経験がユニホームと

ジャージに染み込まれていき、真の藤色が完成したと感じたからです。長池監督がおっしゃっていた意味がわかりました。たくさんの方の想いが詰まった藤枝東のユニホームとジャージをぜひともご覧ください。



清水屋スポーツ株式会社
代表取締役会長
山本直平(通称 直さん)

伝説の藤色を
完全復刻!!



パンツの形は
2パターン

歴代最強時代の
ユニホーム

オリジナルブランド
「SSS」

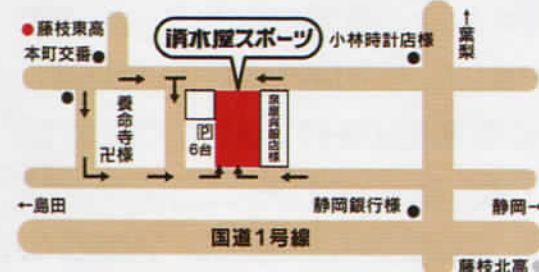
お問い合わせ・お申込みは

清水屋スポーツ

～健康と元気を創造する企業～

TEL 054-641-1358 電話注文承ります!

FAX 054-644-5102 〒426-0018 藤枝市本町3丁目6番8号



清水屋スポーツ

検索

旧街道筋の風情を訪ねる旅

駿州藤枝宿編 七



国民的作家である池波正太郎の代表作、『仕掛人・藤枝梅安』シリーズ。主人公である梅安は、明和元年に駿河の藤枝宿の桶職人の長男として生まれた……という設定となつています。また、初期の作品『梅安初時雨』では、両親を失い藤枝宿の因業な炭屋に引き取られ、ほろ布のようにこき使われている富公という少年。その様子を見た梅安は昔の自分を思い出し、幼い富公を引き取ろうと考えます。上方での仕掛を終え帰途藤枝宿に立ち寄ると、風邪にかかった富公は満足な治療を受けられずすでに亡くなつていた……。梅安が己の過去に思いを巡らす、非常に印象的な作品です。池波作品には宇津ノ谷から藤枝、島田宿にか

藤枝宿は

東海道二十二番目の宿場町。

最盛期には大小合わせて50軒近い旅籠が
営まれていたといえますので、
東海道中でも大きな部類に入る宿場町でした。
今も古い商家や土蔵、多くの寺社が残るなど、
当時の盛んな様子を伝えてくれています。

若一王子神社の社叢はヤマモガシ、ミミズバイ、
イチイガシ等の暖地性植物が自生する北限地。
県の天然記念物に指定されています。



史跡田中城下屋敷

けての地名がよく登場します。
藤枝宿は田中城の城下町と
して発達しました。田中城は
徳川家康の死因とも言われ
る、鯛の天ぷらを食べた場所と
して歴史ファンに知られていま
す。もともとは今川氏により天
文6年(1537年)に築かれ
た城ですが、武田信玄による駿
河侵攻以降は、遠州の徳川家
康に対抗する駿河西部防衛の
要として重要視されました。

飽波神社は仁徳天皇6年(316年)の創建。戦国時代に武田軍により社殿を焼失したが江戸時代に再建。来年は3年に1度の大祭にあたる。



東の
左車町の木戸から
西の
川原町の木戸まで

約2キロに渡って続く長大な宿場町

藤枝宿は城の城下にひとつ

の町が発展したという形態の宿場ではなく、東海道に面したいくつかの村が宿場町の機能を分担するという形で発展したそうです。東西に2キロも続く宿場町ですので、いっぺんに歩くには距離があります。今回は蓮華寺池公園の駐車場から長楽寺商店街、岡出山公園周辺を歩いてみました。まず車を蓮華寺池公園隣の西高跡地駐車場に止め、藤枝小学校前の広い道を旧街道に向かって歩いて行きます。旧街道である商



飽波神社拝殿に飾られた大きな奉納飾絵馬。

店街との交差点を渡りそのまま直進、商店街と並行する岡出山を先ずは目指しました。この小さな山を囲むように藤枝大祭で知られる飽波神社 天満宮、長楽寺、慶全寺、大井神社が建っています。山裾の南側、大井神社から市立図書館を経て飽波神

職人の技と初代館主の趣向が今も息づく割烹旅館

藤枝市街の北西郊、この地に湯治場として発展を願い「潮生館」が建設されました。潮生館の来館者には、犬養毅や浜口雄幸、後藤新平、若槻礼次郎、尾崎行雄氏等、中央の政・財界の大物の方々や梨園の名優など、錚々たる面々が連なれます。昭和8年に離れの「香梅荘」を、昭和14年には本館を全面的に改築しましたが、初代館主である宗二郎は造詣が深く、それに応えるように大工の棟梁や職人たちの技と心意気が、館内のいたるところに潜んでいます。平成16年には国の有形文化財として登録されました。

志太温泉
潮生館

岡出山公園からの眺望。
写真奥には高草山がそびえる。



社へ。さらに山裾を回り込むように歩くと、山頂の岡出山公園へと続く長い階段があります。山頂には忠霊塔の建つ公園が整備されており、春には満開の桜並木が見事な景

観を見せてくれるそうです。今の時期、花は咲いていませんが、旧街道沿いに続く街並みから焼津の高草山までを望むことが出来ます。ここ岡出山には古墳群もあるそうですですが、案内の標識などもなく確認することはできませんでした。忠霊塔の脇を抜け公園の奥へと抜けると、ちよとした山道気分が味わえる小道となっており、そのまま進むと天満宮の脇へとたどり着きます。この日はちょうど例祭の準備の真っ最中。宮



旧藤枝茶貿易館。
築百年以上の洋風建築。



菅原道真公を祀る天満宮社殿。
境内社として津島神社も建つ。

司様をお願いして写真を撮らせていただき、邪魔にならぬよう早々に長い石段を下りました。山裾を巡る道を東へと進み、長楽寺のご門前を左に曲がり旧街道、長楽寺商店街へと抜けました。



志太温泉 潮生館

〒426-0071 藤枝市志太600-2-2
Tel: 054-641-2263
Fax: 054-645-0811

〈交通アクセス〉

JR藤枝駅より3km
バス15分(志太温泉下車)
東名高速道路 焼津I.Cより車で15分
国一バイパス 谷稲葉I.Cより300m



江戸からの屋号が伝わる 伝統

息づく商店街

藤枝宿の商店街には、表具、金物、鋸、建具といった伝統の職人技を伝えるお店が今も多く残ります。また、路地を本入ると立派な土蔵を備えたお屋敷も多く、江戸の名残をそこかしこに感じるこゝとが出来ます。そうしたお店の軒、江戸天保年間創業の「藤枝だるま」は、初代の七五郎さんから数えて五代目となる、長橋秀明さんが今もその伝統を守っています。藤枝だるまは愛らしい「かぼちゃ型」や、明治の文豪・小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が愛玩した面長型の『八雲だるま』など数タイプがあります。ま



制作中の可愛い張子の郷土玩具。

た、だるま以外にオカメ、ヒョットコ、その他の張子面も作っています。が、ひとつひとつすべて手作りで仕上げられています。十数年前、蔵の茶箱の中から初代七五郎作の練り人形の木型120余点が発見されました。長橋さんはこの170年前の木型を使用し、



様々な形・寸法のダルマの木型。

HIBIKI Duo

自然美と機能美。
二つのリズムが心地よく溶けあう住まい「HIBIKI」



モデルハウス公開中 10:00~19:00 定休日:火・水

SINCE 1973

幸福の城を創造する

第一建設 Fujieda



藤枝市水守261-1 TEL054-645-5900
<http://www.daiichikensetsu.co.jp/>

現代に当時の練り人形を復活させました。全高60ミリほどの小さな人形ですが、表情から着物や調度の文様まで全て手描きの為、「細かな作業で、ものすごく手間がかかる」そうです。ぜひ一度、「藤枝だるま」を訪れ、実物のだるまや練り人形をご覧ください。とつても可愛いくカラフルな「カラーミニだるま」はお土産に最適です。そして、折角



初代の使用していた木型を使い復活させた練り人形。全て手作業で制作される。

長楽寺商店街までいらしたなら、藤枝市役所前の「蕎麦屋八兵衛」にもお寄りいただきたい。八兵衛は開店時刻の11時前からお客様が並ぶ人気店です。今は新そばの時期です。ですから、やはり八兵衛の「せいろ」をお薦めします。でも散策でお腹が空いたから

ポリウムも欲しい…。そんな方には「鴨せいろ」がお薦めです。香り・歯ごたえのど越し抜群の一八に温かな鴨肉の汁。焼き目を付けたネギの香りと、鴨肉の脂のコクが相まって、いやがうえにも食欲をそそります。ぜひお試しください。



八兵衛のせいろは、自家製粉の一番粉、二番粉のみを使用した二八そば。

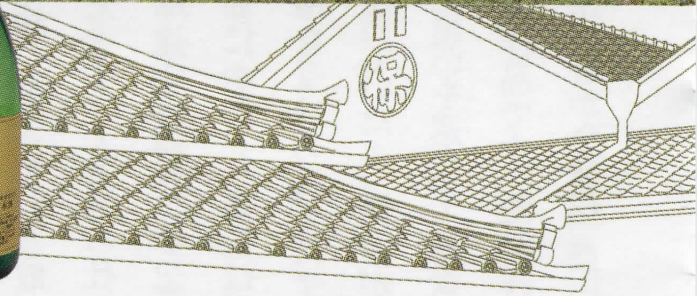
満足な味とおもてなしで
心豊かなひとときを。

蕎麦屋 八兵衛 自家製粉・手打 蕎麦はまだ花でもてなす 山路蔵 紅尾芭蕉

藤枝店 〒426-0026 藤枝市岡出山2-9-27 TEL/054-643-6262

味覚の秋を演出する天与の酒

瀬戸川の水を活かした柔らかな酸味と透明感
飲み飽きしない酒で食の秋を更に楽しむ



平成24年 全国新酒鑑評会金賞受賞

株式会社志太泉酒造

能登杜氏西原光志

藤枝市宮原423-22-1 TEL.054-639-0010

● お酒は20歳になってから